



これであなたも 話の達人

～ナニワのアナウンサーのワンポイントレッスン～

元NHKアナウンサー 寺谷 一紀(小 88期)

上手な話し方とは、簡単に言えば、「人に伝わる話し方」です。これは決して、流暢な話し方や、立て板に水のような話し方とイコールではありません。

我々プロの中にも、これを誤解している人がいます。いわゆる昔ながらのアナウンサー教育を受けた人たちです。彼らは、とにかく「トチらない」ように喋るにはどうすれば良いか、そればかりを考えていました。そして、ある独特の話し方を生み出したのです。

これは「調子読み」と呼ばれています。最もやってはいけない話し方であり、悪い見本のようなものと言えるでしょう。さすがに、放送の現場からは姿を消しつつありますが、まだまだ身近な所で、この話し方は幅をきかせています。

例えば、デパートの店内放送です。「毎度ご来店下さいまして、まことにありがとうございます～」他にも、観光バスの車内アナウンスです。「右手をご覧ください。大阪城でございます～」これらは、一定の抑揚で、まるで節をつけたかのように続きます。調子をとって、音楽のように一定のリズムで話すので、調子読みと言うのです。一見、耳に心地よく聞こえます。トチらないので、上手に感じるかも知れません。しかし、この調子読みでは、相手に内容がまるで伝わらないのです。NHKの日本語センターが、興味深い実験をしています。同じ内容の原稿を、調子読みと、自然な読み方で聞かせ比べた所、理解度がまるで違ったというのです。多少トチっていても、自然な話し方で伝えた方が、はるかに相手に伝わったのです。私は、一年ほど前から話し方教室を開いています。初めは多くの生徒さんが、トチらずにスラスラと共通語で喋ることが、上手な話し方だと誤解していました。

しかし3カ月もすると、それが全くの誤りだと判って、グングン上達します。そのコツは、ズバリ「5つの約束」に集約されます。これを守れば良いのです。

1つ目は「自分のことばで話す」ということ。

日本語は、書きことばと話しことばがまるで違います。スピーチを頼まれ、原稿を書く人を多く見受けますが、これは逆効果。書きことばで綴られた原稿を、話しことばで表現することなど、プロにだって出来ません。ましてや、それを覚え

るのは最悪です。メモを活用して、話の流れを把握しながら、自分のことばで話すことが大切です。

2つ目は「わかりやすく話す」ということ。

例えば、放送では「約」ということばを使いません。「約50人」とは言わず、「およそ50人」と言い換えます。誰でも知っている簡単なことばでも、耳で聞くと「約」を「百」と聞き間違えられるかも知れないからです。当たり前のことであっても、相手に理解されているか常に意識する必要があります。

3つ目は「短く話す」ということです。

ほとんどの人が、話をする時に、やたら長々と、ダラダラと話します。「～で、～で」という具合に、接続詞を多用して、話を短く区切ろうとは決してしません。これでは、主語と述語が曖昧になって、耳で聞いているだけでは、相手が何を言おうとしているのか、さっぱりわからないということにもなりかねません。要は、「○○は××です」「△△は□□でした」という具合に、主語と述語を明確に、短い表現を積み重ねれば良いのです。これだけで、説得力は倍増します。

4つ目は「具体的に話す」ということです。

抽象的な、漠然としたことばで表現するのではなく、相手にイメージが伝わるように、エピソードや具体例を活用しながら話してみてください。

5つ目は「構成を考えて話す」ということ。

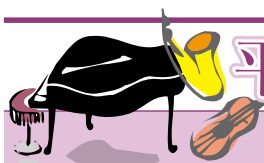
言いたいことは何か、伝えたい内容は何か、頭の中を整理しなければなりません。まず結論を言う、というのも一つの方法です。落語のように、「つかみ、中身、オチ」という具合に話を組み立てるのも効果的でしょう。

後は、この「5つの約束」を、とにかく実地で訓練し、身につければOKです。

私の教室では、高校生から84歳のお年寄りまで、全くの素人の生徒さんが、3カ月から半年で、みるみる上手くなっていきます。要は、慣れの問題なのです。毎日の会話に「5つの約束」を意識して、あなたも話の達人をめざしてみませんか。

ナニワのアナウンサーの話し方・朗読教室に関心のある方は、いつでもご連絡下さい。

京橋オンリーワン学園 TEL 0120-802501



平成17年新年会報告

新年会実行委員会委員長 西口 重秋(茨高 32期)

本年、平成17年1月29日(土) リーガロイヤルホテル 山楽の間において平成17年山桜会新年会を開催いたしました。

新年会の始まりは、追手門学院大学チアリーダーの皆様によるパ



フォーマンスで盛大に開会する事ができました。新年会イベントとしては、程 一彦氏(中学校4期)とBAD BOYSの皆様による、スタンダードジャズ、聞きなれた懐かしいジャズ音楽を演奏され、また客席まで降りられてのパフォーマンスによりご参加いただきました皆様と、一体感のあるイベントとなりました。当日は、学校法人から学

院長・常務理事・各校長・教頭先生ほか、多数の先生方の参加をいただき、さらに各学校のPTA会長・副会長その他の役員さん方もご参加いただき、オール追手門としての新年会を催すことができました。



今回、山桜会会員の皆様による多大なるご理解とご支援を頂き、多数の知人友人へのお誘いをしていただき、このような盛大な新年会を迎えることができました事を深く感謝いたしてしております。山桜会は追手門学院卒業生の校友会として、追手門学院の発展の一役を果たすことを第一に考え活動を行っております。今後とも、山桜会会員の皆様、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げますとともに心より感謝し、紙面に御礼申し上げます。